おおいた国際交流プラザ
OITA INTERNATIONAL PLAZA

La Estación

vol.40
2012

ラ・エスタシオン
スペイン語で、局や駅の意。当誌が県内の国際交流・協力情報の発信地として、広く親しんでいただけるよう願いを込めてつけました。

寄稿　国際交流協会の役割
第4回「理解し合い、協力し合う多文化共生のまちへ
～川崎市国際交流協会の取り組みから～」……1-2
団体の紹介　●外国人Life Support……3
国際的に活躍している人々の紹介……3
韓　光烈氏
みんなちごうちおもしりぃ～♪……4
JICAデスク大分からこんにちは「隊員体験記」……4
Event Calendar……5-6
私たちの声を聞いてください!……7
小野　ビーナス氏
Information……7
イベントの報告……7
おおいた国際フェスタ2012

（財）大分県文化スポーツ振興財団

「クリスマスマーケット」ベルリン
写真：上田ゆかり

寄稿　国際交流の意義と目的
国際交流協会の役割

第4回
「理解し合い、協力し合う多文化共生のまちへ ～川崎市国際交流協会の取り組みから～」

今年度は「国際交流協会の役割」と題して、先進的な取り組みを行っている国際交流協会等に、国際交流団体や在住外国人に対する支援策等について解説していただきます。第４回目は、川崎市国際交流協会の吉田和江さんの寄稿です。

はじめに

市の人口の2%にあたる約3万人の外国籍市民が暮らしている川崎市では、2005年、国籍や民族、文化の違いを豊かさとして生かし、すべての人が互いに認め合い、人権が尊重され、自立した市民として共に暮らすことができる「多文化共生社会」の実現をめざす「川崎市多文化共生社会推進指針ー共に生きる地域社会を目指してー」を策定しました。

その基本理念は、「①人権の尊重、②社会参加の促進、③自立に向けた支援」とし、施策推進の基本方向として、「A行政サービスの充実、B多文化共生教育の推進、C社会参加の促進、D共生社会の形成、E施策の推進体制の整備」が示され、市内のそれぞれの関係機関が、日々、その施策実現のためにさまざまな形で推進しています。

また、川崎市独自の取り組みでもある、川崎で暮らす外国人市民からなる「川崎市外国人市民代表者会議」では、外国人市民の視点からの課題が話し合われ、それをまとめた年次報告の提言は市の施策にも反映され、年度ごとにその取り組み状況の確認もなされています。

多文化共生社会の理解に向けて

川崎市国際交流協会では、各国の市民相互の交流を深め広げる事業と外国人の居住する地域の国際化に向けた2つの事業を中心にさまざまな事業を展開しています。

〈外国人支援のための6言語の窓口相談の実施〉

相談には、市の中部に位置する国際交流センターにおいて、タガログ語、ポルトガル語、スペイン語、中国語、韓国・朝鮮語、英語の6言語について、経験豊かな外国人と日本人の相談員があたっています。また、東部の川崎・西部の麻生の両区に月2回、タガログ語・中国語・英語のボランティア相談員を配しています。月末には区役所とセンターの全ての相談員による情報交換や研修を行い、相談の適切化と相談員の資質向上に努めています。

外国人の相談者は、相談員に母国語で話を聞いてもらえる安心感とともに、相談員から適切なアドバイスや情報を受ける中で、自分自身で解決に至る道筋を見つけるのに役立っていると思われます。相談件数は、年間合計2,000件を超し、相談内容が複雑化多様化している中、他の機関と連携し解決にこぎつける件数も年々増加しています。

〈外国人市民を対象とした生活情報講座の実施〉

外国人市民が講師となって食文化を含めた文化紹介を行う料理講座や、日本人講師による和食やお弁当の作り方のアドバイスや、相談員が市営住宅の申込み方をアドバイスする講座は毎回大盛況です。

今年度は新たに、相談員による「新しい在留管理制度説明会」や区役所職員による「保育園や子育て支援施設についての説明会」、そして、1歳児未満の子どものいる外国人市民が親子で参加する「親子で学ぶ日本語サロン」や外国人や日本人の親子（子どもは5歳から12歳）の「夏休み親子料理教室」を開催し、充実を図っています。中でも「親子で学ぶ日本語サロン」では、そのサポーターの養成も行い、サポーター主体のサロンの継続に向けた検討を進めています。

〈地域への啓発に向けた多文化共生推進イベントの開催〉

平成23年度には、多文化共生の地域への啓発を趣旨とした推進イベントとして、「シンポジウムー外国人の立場から考える地震災害」を開催しました。東日本大震災被災地の福島県国際交流協会の活動の報告の中での地域にとけ込んでいる外国人の話や、心を込めた被災地支援をしているパネルディスカッションでの外国人パネラーの話に、参加者は感銘を受けていました。

広報紙による情報提供

本協会で発行している広報紙は、国際交流センターで開催される講座やイベントを紹介する、年10回発行の「国際交流センターだより」、日本で活躍する外国人や外国で生活している日本人のレポート、市内の国際交流の話題等も盛り込んだ季刊情報誌「*SIGNAL*」、そして、年10回発行の多言語情報紙「ハローかわさき」があります。

各言語で示される標題文字

〈多言語情報紙「ハローかわさき」〉

外国人市民への生活情報提供の一つで、「中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語、タガログ語、英語」の6言語と「やさしい日本語」の7言語で提供しています。

市内のFM放送で流す文章の多言語訳提供で始まった情報紙でしたが、企画・編集に携わる外国人窓口相談員が外国人の立場から「必要な情報か否か」を話し合い、情報過多にならず、読んでいただける紙面をめざす多言語情報誌となりました。

また、翻訳は、協会登録のボランティアに依頼しています。情報紙の配付先は、区役所や市内の日本語学習を行っている20ヶ所から始まり、現在では、市内・県内の外国人が学習している専門学校・大学まで60ヶ所を超えています。さらに、「やさしい日本語」版はニーズを考慮し、「国際交流センターだより」や季刊情報誌「*SIGNAL*」とともに学校や幼稚園、子育て施設へも配付しています。「ハローかわさき」は徐々に認知度も高まっており、「外国人の方々に知ってほしい情報」についての市内の各部署からの掲載依頼も増えてきています。

理解し合い、協力し合う「外国人と一緒に学ぶ消防訓練」の実施

日本語講座の受講生や外国人留学生、地域町内会に呼び掛けながら、地域の消防署の協力のもと、「外国人と一緒に学ぶ消防訓練」を開催しています。この中で外国人には、日本の災害、防災、避難所の確認やAED講習、起震車体験、煙体験、消火器体験、通報電話模擬体験等を通じて理解を深め、“いざ”という時に落ち着いて身の安全を守っていただきたいと考えています。

119 番の通報訓練

やさしい言葉標示で誘導

また、市民には多言語表示の意義について知っていただくこと、外国人市民には防災に関わる多言語資料を提供し、そばに置いていただくことで、日常生活の中での防災意識に役立てばと考えています。

暮らしやすい街づくりに役立つ国際交流の継続へ

国際交流協会では、日本に住む外国人の方々が安心して安全に生活できるような支援をさぐりつつ、さまざまな事業に取り組んでいます。また、これらの事業には、翻訳・通訳だけでなくさまざまな事業に協力していただける登録ボランティアの力も欠かすことはできません。

日本の言葉や文化を理解し、一生懸命暮らしにとけこもうとしている外国人市民、その外国人市民を相互に助け合う地域の隣人として受け入れようとしている市民、同じ川崎人として暮らしやすい街づくりに役立つ国際交流を進める協会でありたいと考えています。

Profile

吉田　和江（よしだ　かずえ）

公立学校で、海外からの帰国生徒の指導や特別支援教育に係る勤務を経て、2011年4月より、財団法人川崎市国際交流協会（2012年4月より、公益財団法人に移行）に勤務。外国人相談業務、多言語情報紙等の広報業務、外国人のための生活情報講座等の総括となる多文化共生課長として、現在に至る。

大分の国際交流団体の紹介

「外国人Life Support」

外国人と、外国人をとりまく問題で心配や悩みのある方は、「外国人Life Support」へお気軽にご相談ください。

「外国人Life Support」は、18年前「大分出入国事務取扱協議会」として発足しました。1996年6月から、「入国・在留・国籍手続無料相談会」を大分市コンパルホールにおいて定期的に行っていました。外国人が日本で安心して生活できるよう、日本への入国手続き、在留手続き、国籍取得手続きなどの相談、また、日本人と外国人が互いを認め合いながら紛争を円満に解決するための助言などをすることを目的として活動していました。

2009年8月、名称を「**外国人Life Support**」と改め、より多くの外国人が快適に日本で暮らせるよう、生活や就職の悩みなど、様々な問題に幅広く応じられるよう努力を続けております。

・外国人の雇用・就労問題
・日本で外国籍の人が起業をしたい
・国籍を超えた結婚・離婚
・近隣住民とのトラブルなど

個人のそれぞれのお悩みに対応できるよう、相談員の拡充を図っています。出入国手続き、帰化手続きなどを専門にしている行政書士、弁護士等の相談員以外にも、訓練された様々な分野の専門職も相談員に加わりました。

2012年11月には「外国人無料相談会」は190回を数えました。「**おおいた国際交流プラザ**」（**iichiko総合文化センター地下1階**）**において、毎月第1日曜日（1月と5月を除く）13時から16時まで「外国人無料相談会」を開催しています。**予約の必要はありませんが、順番ですのでお待ちいただくこともあります。行政書士、弁護士、社会福祉士、法廷通訳、カウンセラーなどの専門職が皆様の相談に応じます。（相談料は無料）

この記事をご覧になったあなたが、外国人にこの相談会の存在を伝えてくださることを期待しています。

それでは、第1日曜日に「おおいた国際交流プラザ」でお待ちしています。

（お問い合わせは、「外国人Life Support」事務局、原田みゆきまで。0979-43-6329　※電話での相談はお受けできません。）

人物の紹介 ～国際的に活躍している人々の紹介～

今回は、沖縄から大分に来て約半年の韓光烈（ハン・クワンヨル）さんを紹介します。

―― 韓さん、まず始めに自己紹介をお願いします!

私は韓国の大田（デジュン）出身です。韓国の大学で音楽を専攻し、その後オーストラリアとアメリカに渡り英語を学びました。日本に来てからは日本語を勉強しながら名古屋や大阪で働き、今年 4 月に大分に来るまでは、沖縄で小中学校の英語の講師をしていました。

―― 大分の印象は??

沖縄の海もとても綺麗でしたが、大分は山・海・川が美しく、新鮮な野菜や魚が印象的です! 休日には芹川ダムへ水汲みに行ったり、庄内で梨狩りをして楽しんでいます♪大分の方々はみなさん優しいですね。でもその半面、地域コミュニティーの結びつきが強く、外から来た人が入り込みにくい閉鎖的な部分も感じます。温泉や自然が豊富な大分は観光地としても魅力的だと思うので、もっと外国語の看板を増やすなどして馴染みやすい雰囲気をつくれば外国人観光客もどんどん増えるのではないでしょうか?

―― これから大分でどのような活動をしていきたいですか?

現在は、韓国語や韓国の文化・習慣を教えるといった異文化交流活動をしていますが、今後は韓国料理教室を開いたり、韓国の音楽や楽器なども紹介していければと考えています。自分ができる限りの異文化交流をして、大分と韓国の交流の架け橋になれればと思っています。

―― それでは最後に、韓さんの人生のモットーを教えてください!

『人の役に立って、その人が幸せになっている姿を見るのが私の喜び』

そのためにも、まず自分を愛することが大切です!!

韓さん、深いお言葉ありがとうございました♪

鉛筆もノートも不要！耳で聞いて声に出して、自然な韓国語を身につけませんか？

◎韓ちゃん韓国語教室
[初級～上級]
◎韓ちゃん英語&韓国語教室
[For Kids]

お問い合わせ
☎080-3289-4412

おおいた国際フェスタ2012「せかいとあそぼう【韓国ブース】」

みんなちごうちおもしりぃ～♪

大分弁：みんなちがっておもしろい♪の意

普段は当たり前のようにやっているけど・・・これって日本だけの習慣??　海外旅行に行って現地の人の様子を見てビックリ!なんて経験がアナタにもあるハズ! このコーナーでは、世界各国の文化や習慣の違いを楽しく共有していきます♪
今回のお題は・・・

『主食っち何なん?』

パプアニューギニア

タロイモ・サツマイモなどのイモです（カウカウと言います）♪【Y.O】

フランス

パンとじゃがいもです!　ちなみにじゃがいもはpomme de terre(ポム・ドゥ・テール=大地のリンゴ)といいます。お馴染みのフレンチフライやポテトグラタンのほか、ピューレ状にしてハーブやナツメグ、バターなどを混ぜたり、皮ごと茹でたものにバターを落として食べたりします。　【A.T】

モンゴル

肉です! 羊、山羊、馬、牛、ラクダが5大家畜と言って食べられます。特に羊は遊牧民、都市部の人にかかわらず大好きでよく食べます。馬は冬の寒い時に食べると身体が温まると言われます。【R.W】

ベナン

とうもろこし・キャッサバ・ヤムイモ・米などを練ったり蒸したものが主食です! 種類も豊富で、知ってるだけでも8種類（アカサ・テリボ・バデウォ・アミウォ・アブロ・アッベリ・イニヤムピレ・パットリ）あって、日本は主食が少なくて可哀そうだとよく言われます。お赤飯そっくりな「アタシ」というものもあります!【H.U】

中国

北部では麺類と米、南部では米が主食です。
中国では小麦粉で作ったものを全般的に「麺」といって、代表的なものは饅頭(マントウ)という中国式蒸しパンです。日本のおまんじゅうとは違って、中身は何も入っていませんよ♪
【W.K】

JICAデスク大分からこんにちは

大分県から派遣されている青年海外協力隊（20歳から39歳まで）は17名、シニア海外ボランティア（40歳から69歳まで）は5名、合計22名の方々が活動しています。それぞれアジア、アフリカ、南米、大洋州、中東の23か国で活躍中!（2012年10月31日現在）今回は、青年海外協力隊で活動中の梅田宏美さん（中津市出身）の活動の様子をお伝えします。

私は西アフリカのベナンで栄養士として活動しています。任地は首都ポルトノボから西に80kmの所にあるウィダという街で、バカンスシーズンには観光客が多く訪れます。ギニア湾に面したこの街は、三角貿易(奴隷貿易)が行われていた時代に多くの奴隷がこの海岸から出港したという歴史もあります。

ベナンの気候は、気温、湿度とも高いので、いつも汗だくになっています。そのせいか食事は塩が必ずと言っていいほど含まれていて、唐辛子が入っているのが特徴です。みなさん食べる量が多いようです。一度にどれくらいの量を食べているか調べたところ、主食のパット(とうもろこしの粉を練ったもの)を最低でも400g食べていました。コンビニのおにぎり1個が110g前後なので、ビックリですね。現地の人々は、「主食をたっぷり主菜は少し」という食習慣で、タンパク源の少ない食事を摂っています。そのため、乳幼児・妊産婦の貧血が大きな問題となっています。私はこのような乳幼児と妊産婦を対象に活動しています。

今年6月と9月に配属先病院で離乳食のデモンストレーションを実施しました。不足しがちなタンパク質をしっかり摂れる大豆を使ったレシピを選びました。そこで紹介した献立は、大豆と穀類のブイユ・大豆と青菜入りブイユ・さつまいもペーストです。ブイユとは、フランス語でお粥という意味です。日本のお粥と異なりますが、穀類の粉を湯で練った流動食で「くず湯」に似ています。

新しいことを取り入れ、継続性を持たせる事は大変ですが、子どもたちのキラキラした笑顔のために、同僚と一緒に取り組んでいこうと思います。

任地 ウィダの海岸にある「帰らずの門」。
奴隷の歴史を忘れないために建てられました。

JICAデスク大分
国際協力推進員の渡辺（わたなべ）までいつでもどうぞ
〒870－0029　大分市高砂町2－33　iichiko 総合文化センター地下１階　国際交流プラザ内
TEL：097－533－4021　FAX：097－533－4052　E-mail：jicadpd-desk-oitaken@jica.go.jp

DEC 12 ▶▶▶ JAN 1

プラザのカウンセリング・各種相談のご案内

中国語無料相談
毎月第2・第4火曜日と木曜日
時　間：火曜日：13：00~16：00
　　木曜日：10：00~13：00
会　場：国際交流プラザ
予　約：不要　　相談料：無料
相談員：児玉　文玉（こだま　うぇんゆう）
※県内在住中国語圏の方のための無料相談です。

タガログ語無料相談
毎月第1土曜日と第3火曜日
時　間：13：00~16：00
会　場：国際交流プラザ
予　約：不要　　相談料：無料
相談員：吉武ロドラ（大分県フィリピン友好協会 会長）
※県内在住フィリピン人の方のための無料相談です。

在住外国人のための無料相談
毎月第3水曜日
時　間：13：00~16：00
会　場：国際交流プラザ
予　約：不要　　相談料：無料
※ただし、日本語、英語以外による相談は、通訳手配のため、2日前までに要予約。
相談員：伊藤精（行政書士）
※県内在住外国人のための無料相談です。

入国・在留国籍手続無料相談
毎月第1日曜日
主　催：外国人 Life Support
時　間：13：00~16：00
会　場：国際交流プラザ
予　約：必要　　相談料：無料
対応言語：日本語・英語
※主として法律相談ですが、それ以外の内容でもお困りの場合はご来館ください。また、相談内容が外にもれることはありません。お知り合いの外国籍の方がトラブルや悩みを抱えている場合には、その方にぜひお伝えください。

在住外国人のための無料健康相談
毎月第3水曜日
主　催：大分県済生会日田病院
時　間：14：30~15：30
会　場：国際交流プラザ
予　約：不要　　相談料：無料
○健康が不安、どこに相談すればいいの?
○体調が悪いけど、医療費の支払いが心配。
県内在住外国人で、低所得（住民税非課税世帯等）の方、失業等による急な所得低下の方、DV被害の方、医療費にお困りで病院を受診できない方、医療や福祉に関する相談など、ぜひご利用ください。
※健康保険証をお持ちの方は、当日持参してください。

DEC

1日（土）人権啓発フェスティバル
「ともに認め合い　ともに育む　一人ひとりの人権」をテーマに、人権問題に関する多彩なイベントを開催します。人権が尊重される社会づくりのために、あなたも人権について考えてみませんか?
時　間：9：00~16：00　　会　場：iichiko総合文化センター
入場料：無料
主　催：大分県、大分県教育委員会、大分県人権教育・啓発推進協議会

1日（土）タガログ語無料相談
時　間：13：00~16：00　　会　場：国際交流プラザ

2日（日）入国・在留国籍手続無料相談
時　間：13：00~16：00　　会　場：国際交流プラザ
主　催：外国人 Life Support

4日（火）　原田淑人さん特別講演会
「大分から見る国際協力のカタチ~フィリピン・シキホール島の子どもたち~」と題し、大分舞鶴高校出身、フィリピン・シキホール島在住の原田淑人さんによる4年ぶりの特別講演会を開催します。観光客向けのコテージを経営しながら、子ども達のために売上の10%を寄付したり、学校のトイレ整備に尽力したりと個人レベルで国際協力をしている原田氏に、これまでの経験や現在の活動について語ってもらいますので、ご興味のある方はぜひお越しください!
時　　間：14：30~16：30
会　　場：iichiko総合文化センター　B1F【映像小ホール】
対　　象：国際協力やボランティア・市民活動に興味関心がある方ならどなたでも
定　　員：60名程度 ※要申し込み　　参加費：無料
担　　当：髙橋(たかはし)

8日（土）日本語deトーク
国際交流プラザでは日本人と外国人の相互理解を目的に、毎月土曜日に日本語deトークを開催します。この日本語deトークでは、日本人と外国人が各国の文化の違いなど、毎回異なるテーマに沿って日本語で話し合いをし、気軽に交流をします。日本人、外国人のことを知ってもらいたい方、理解したいという方、もちろん、「何だかおもしろそう!」という好奇心旺盛な方も大歓迎です。興味があるテーマに気軽に参加してみませんか?
テーマ：「クリスマス&お正月」
時　間：13：00~14：30　　会　場：国際交流プラザ
定　員：各5名（先着順）※要申し込み　　参加費：無料
TEL：097-533-4021　E-mail：hiramoto@emo.or.jp

12日（水）通訳・翻訳ボランティア　スキルアップ講座
今年度、国際交流プラザでは、ご登録いただいている全12言語の通訳・翻訳ボランティアを対象に、「医療通訳」「学校通訳」「災害通訳」をテーマにしたスキルアップ講座を開催しています。今回は「学校通訳」編として、グローバル化する学校の現状と課題について学んでいただく予定です。ご登録者はぜひご参加ください。
時　間：18：30~20：00
会　場：iichiko総合文化センター 4F【中会議室1】
対　象：国際交流プラザの通訳・翻訳ボランティアにご登録いただいている方
参加費：無料　※要申し込み（申込締切：12月7日（金）まで）
担　当：白川（しらかわ）

18日（火）タガログ語無料相談
時　間：13：00~16：00　　会　場：国際交流プラザ

19日（水）在住外国人のための無料相談
時　間：13：00~16：00　　会　場：国際交流プラザ

19日（水）在住外国人のための無料健康相談
時　間：14：30~15：30　　会　場：国際交流プラザ
※健康保険証をお持ちの方は、当日持参してください。
お問合せ：大分県済生会日田病院
TEL：0973-24-1100

JAN

12日（土）タガログ語無料相談
時　間：13：00~16：00　　会　場：国際交流プラザ

15日（火）タガログ語無料相談
時　間：13：00~16：00　　会　場：国際交流プラザ

16日（水）在住外国人のための無料相談
時　間：13：00~16：00　　会　場：国際交流プラザ

16日（水）在住外国人のための無料健康相談
時　間：14：30~15：30　　会　場：国際交流プラザ
※健康保険証をお持ちの方は、当日持参してください。
お問合せ：大分県済生会日田病院
TEL：0973-24-1100

26日（土）日本語deトーク
国際交流プラザでは日本人と外国人の相互理解を目的に、毎月土曜日に日本語deトークを開催します。この日本語deトークでは、日本人と外国人が各国の文化の違いなど、毎回異なるテーマに沿って日本語で話し合いをし、気軽に交流をします。日本人、外国人のことを知ってもらいたい方、理解したいという方、もちろん、「何だかおもしろそう!」という好奇心旺盛な方も大歓迎です。興味があるテーマに気軽に参加してみませんか?
テーマ：「冬の過ごし方」
時　間：13：00~14：30
会　場：国際交流プラザ
定　員：各5名（先着順）※要申し込み　　参加費：無料
TEL：097-533-4021
E-mail：hiramoto@emo.or.jp

大分大学留学生雷娟（らいけん）と是本貴昭による
「日中友好美術展」~水と油の二人展~

期　間：12月8日（土）~ 1月12日（土）
場　所：おおいた国際交流プラザ 壁ギャラリー
　　【iichiko総合文化センター B1F】

■大分大学学生と留学生による学生交流事業として2回目の展示となる今回は…
□雷　　娟…生と死の間をアクリル絵の具をつかってイラストで表現
□是本貴昭…喜びに満ちた人、嬉しさや喜びを油彩で表現

日中国交正常化40周年を迎えるにあたり、両国の大学生同士がお互いに刺激を受けながら制作した作品。よりよい日中関係を作るきっかけになればとの思いを込めた展示です。
ぜひお立ち寄りください!

Facebook はじめました!

おおいた国際交流プラザでは、blog や twitter に加えて、新たな広報ツールとして Facebook ページを開設しました。
Facebook ページを通じて様々な情報を提供し、また皆様からのご意見をいただきたいと思っています。

http://www.facebook.com/oitaplaza

『いいね !』クリックお願いします!

いま、ふたたび **原田（とした）淑人さん特別講演会**
大分から見る国際協力のカタチ
~フィリピン・シキホール島の子どもたち~

参加費無料!

平成 20 年にも原田さんにお越しいただき、南の島の子どもたちの現状や支援活動について語っていただきました。今回は皆さんと、日本からできる様々な支援のあり方を、考えていければと思います。ぜひご参加ください。

日 時　平成 24 年 12 月 4 日(火)　14：30 ~ 16：30
場 所　iichiko 総合文化センター　B 1 F【映像小ホール】

三者共催：財団法人大分県文化スポーツ振興財団　国際交流プラザ
特定非営利活動法人大分・ミンダナオ交流協会
大分ＮＰＯ研究所

わたしたちの声を聞いてください!

「国　際　結　婚」

小野　ビーナス

光陰矢のごとし、私はこの国に来てもう11年経ちました。

自己中心的な私でしたが、様々な人と出会い、優しさや厳しさに触れ、思いやるという気持ちを学びました。

国境を越えた愛情は非常にシンプルで、まるで「こんにちは」と言うように、同じ国同士の恋愛や結婚と何ら変わりありません。その中に、思わず笑い出してしまうような面白さがあります。一方、異文化ゆえの衝突もしばしばあると思います。

いくら自分が完ぺきに相手の言語に精通していても、コミュニケーションの壁は存在します。自分の気持ちを完全に伝えるために、言葉のニュアンスをすべて理解するのは難しいことです。それが原因で、すれ違いや心の距離ができてしまう。ただしこれは、同じ国同士のカップルも同じです。なぜなら、言葉で完全に自分の思いを伝えるのは大変難しいから。しかし、物事は相手の立場に立つ事で、困難を幸福に変え、すべて容易に解決できると思います。

自分の考えですが、同じ国同士の結婚でも国際結婚でも、大切なのは「思いやり」と「愛情」だと思います。この二つの要素が重要で、その気持ちがある限り、結婚自体が幸せなものなのです。

知り合いの中で、愛する人の為に一生懸命頑張っている若い国際カップルを何組か知っています。彼らを見ると、本当に応援したくなります。私の願いですが、もし、あなたの近くに彼らのような人たちがいるのであれば、どうか温かく見守ってあげてください。

INFORMATION

表紙写真大募集

「La　Estacion」の表紙写真(1年分6枚)を募集します。大分県民の方が海外で撮ったステキな作品であれば何でもOK! 表紙に採用された場合は、全国70カ所、県内300カ所以上に置かれ、たくさんの方々の目に触れます。あなたの写真で「La Estacion」の表紙を飾ってみませんか? たくさんのご応募お待ちしております♪

【規　　格】

・撮影者自身に著作権のある未発表・未公開のオリジナル作品

・デジタルカメラで撮影した200万画素以上のもの(JPEG方式)

【応募方法】

①撮影者の住所　②氏名　③電話番号　④撮影場所

⑤撮影年月日　⑥作品のタイトルまたは説明

を添えて、JPEG方式で保存された写真データを添付し、メールの件名を「表紙写真」としたうえで平成25年1月18日(金)までにご応募ください。

Eメールアドレス：hiramoto@emo.or.jp

【結果通知】　平成25年1月末までに、メールで結果をお知らせします。

※人物が明らかに特定できる場合は、ご本人に了承を得てください。
※編集上トリミングを行う場合がありますので、あらかじめご了承ください。
※採用作品の著作権は、おおいた国際交流プラザに帰属します。

イベントの報告

『おおいた国際フェスタ2012』

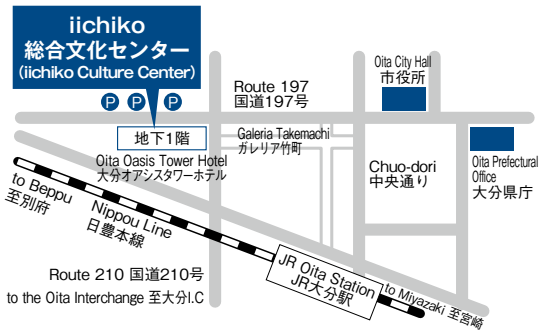
10月21日（日）にiichiko総合文化センター1F【アトリウムプラザ】にて、『おおいた国際フェスタ2012 ～世界をまるごと体験しよう!～』が開催されました。8回目を迎えるこの大イベント、今年はさらに親しみやすいものとなるよう「せかいの遊び」「せかいのおやつ」「民族衣装試着コーナー」などを新たに設け、国籍・年齢を問わずたくさんの方々にご来場いただきました! ステージパフォーマンスや日本文化体験ワークショップコーナーもさらにパワーアップした内容で、来場者の笑顔が溢れる異文化交流空間となりました。

来年度の『おおいた国際フェスタ』にもご期待ください!!

民族衣装ファッションショー

参加型ステージパフォーマンス

体験ブース



おおいた国際交流プラザ

La Estación ラ エスタシオン 2012 vol.40

発　行　日　平成24年11月28日(奇数月末発行予定)
編集・発行　(財)大分県文化スポーツ振興財団
国際交流課
〒870-0029 大分市高砂町2番33号
iichiko総合文化センター地下1階 iichiko Space Be(スペース ビー)内
開館時間：9：30～19：00
閉館日：日曜日・祝日及び第2・4月曜日とその週の土曜日※ただし開館日が祝祭日の場合はその翌日
TEL：097-533-4021　FAX：097-533-4052
E-mail：in@emo.or.jp　Twitter：@oitaplaza
Facebook:おおいた国際交流プラザ
URL：http://www.oitaplaza.jp/